

男性不妊について

不妊の原因は、決して女性側だけの問題ではありません。
実際には、
不妊に悩むカップルの半分は、男性側に原因がみられます。



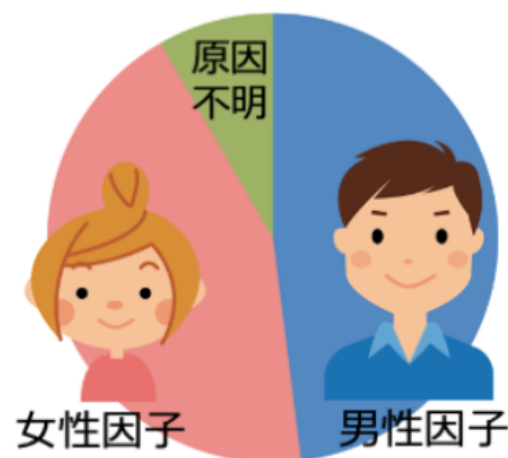
女性側の問題としては、卵管の通りや動きが悪い（卵管因子）、正常な卵子が排卵されない、ホルモンがうまく分泌されない（内分泌因子）、子宮内膜が着床しにくい状態（子宮因子）、などの不調が考えられます。

また男性側では、精子の数が少ない（乏精子症）、精子の動きがよくない（精子無力症）などの精液の不良がおもな原因になっています。
また、原因を特定できない「原因不明不妊」の割合も意外に多い割合という現状です。

原因は決してひとつではありません。

一人で悩まず、パートナーとお互いに理解することが必要です。

不妊の原因割合



精子の異常と精液検査について

通院されている旦那様の半分以上に精子の異常が見られます。

異常を認める方全員に精子を元気にするお薬をお勧めしております。



妊孕力（にんようりょく）とは、女性の場合は妊娠する力、男性の場合は妊娠させる力のことをいいます。

男性の妊孕力は、大きく分けて二つ。

一つ目は、夫婦生活を持ち、膣内に射精できること。

そして、二つ目は、その精液内に運動性良好な精子が十分な数にいることです。

このどちらかに問題があると、不妊の原因になります。

一つ目に問題がある性機能障害は、ご本人も自覚できますが、二つ目の 精子異常に関しては、精液検査を受けていただかなければわかりません。

精液の状態を調べずに、タイミング法を長期間続けたのち、男性不妊であったことがわかった場合などは、

「これまでの通院は何だったんだろう…」ということになりかねません。

実際、不妊に悩むカップルの半数に、男性不妊の問題が見つかります。

お二人の赤ちゃんをお迎えする道のりが遠回りにならないよう、早めの精液検査にご協力ください。



日常生活について

精子は生活でのちょっとした心がけで改善されます。
お薬を処方される前に、生活を見直してみましょう。



▶タバコは禁煙

タバコに含まれるニコチンは血管を収縮させて血行障害を引き起こします。
精子の異常やインポテンスの原因になるとも言われています。



▶お酒は控えめに

アルコールの飲み過ぎは性中枢を抑制し、性交障害を引き起こしますので飲み過ぎには注意！

▶趣味や娯楽で積極的にストレス解消を

精神的な悩みが原因になって、男性がインポテンスになることがしばしばあります。
ストレスは多かれ少なかれ、誰でも抱えているもの。楽しい会話や趣味でストレスをためないようにしましょう。
また、寝不足はイライラの原因になります。十分な睡眠時間をとるように心がけましょう。



▶風疹抗体ワクチン

妊婦が風疹にかかると、目や心臓、耳などに障害を持つ子供が生まれる可能性があります。
妊婦の感染はほぼ夫からの感染と言われているので、奥様と赤ちゃんを守るためにも風疹抗体ワクチンを接種しましょう。

▶薄毛治療

薄毛治療は男性ホルモンを低下させ精子の状態を悪化する可能性がありますので、妊活中はお勧めしません。

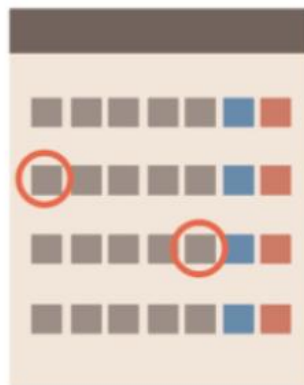
不妊治療のスケジュール

「2日後あるいは翌日に精子が必要！」となっても慌てないためにも不妊治療のスケジュールを共有しておきましょう。



奥様のお身体で「2日後あるいは翌日に精子が必要」という場合があります。お仕事の都合や体調などで慌てないようにするためにも、**奥様と不妊治療のスケジュールを共有**していただけますよう、よろしくお願いします。

保険診療を行うために、「**不妊オリエンテーション**」「**治療方針決定**」の際は旦那様も奥様と**ご一緒に来院していただくことになります**ので、ご都合をつけていただきますようお願いいたします。



奥様の体調の変化

ホルモン剤の副作用で奥様の体調や気持ちの変化が起こる事があります。
奥様の変化をサポートして、前向きに赤ちゃんを迎える準備を
しましょう。



不妊治療ではお身体を整えるためにホルモン剤を奥様に処方いたします。
人それぞれですが、ホルモン剤の副作用で気持ちが悪くなったり、むくんだり、と体調の変化
や、イライラしたり、気分が沈んだりといった気持ちの変化が起こることがあります。

この副作用は、妊娠した際に起きる「つわり」と同じ現象です。
一緒に落ち込むのではなく、妊娠への前向きな体の変化として、奥様と一緒に前向きに赤ちゃん
を迎える準備をしましょう。



生まれてくる赤ちゃんはお二人のお子さんです

通院を頑張る奥様へ労いの一言を。

お二人でパパ、ママになる気持ちの準備をしていきましょう。



不妊治療はどうしても、通院回数、検査や治療、服薬など奥様へのご負担が多くなってしまいます。

通院から帰宅してきた奥様へ

「今日は病院でどんなことをしてきたの？」

と言った一言が奥様への励みになり、ただ話を聞いてあげるだけでも、心が軽くなることもあります。

これから生まれてくる赤ちゃんはお二人のお子さんとなります。

お二人で、パパ、ママになる気持ちの準備を不妊治療から始めていきましょう。

